

## 「墨田区基本計画中間改定」(案) に対するパブリック・コメントの実施結果

### 1 パブリック・コメントの実施概要及び結果

#### (1) 公表資料

「墨田区基本計画中間改定」(案) の本編

#### (2) 意見募集期間

令和4年3月1日(火) から令和4年3月31日(木) まで

#### (3) 意見募集の周知及び公表方法

##### ア 実施の周知

- ・ 区のお知らせ 令和4年3月1日号
- ・ 区ホームページ 令和4年3月1日から令和4年3月31日まで

##### イ 公表資料の閲覧方法

- ・ 区ホームページ
- ・ 区民情報コーナー (区役所1階)
- ・ 企画経営室政策担当窓口 (区役所6階)

#### (4) 意見提出方法

郵送、ファックス、電子メール、専用の受付フォーム又は持参

#### (5) 意見提出先

企画経営室政策担当

#### (6) 意見募集の結果

意見者数 3人

意見数 30件

### 2 パブリック・コメントの意見等の概要と区の考え方

NO	意見等の概要	区の考え方
1	第2章 II 人口 ①人口の推移 大正から人口の推移が記載してあるが、当時は墨田区ではないと思われる。	昭和22年に本所区・向島区の両区が統合し、墨田区が誕生しましたが、墨田区の前身となった村や町の人口が大正9年からの国勢調査で把握できていることから、第1回目の国勢調査からの人口を記載しています。
2	第2章 II 人口 ②年齢構成 年齢3区分別のグラフからは文章に記載されている人口の構成比率が読み取れない。	人口構成比率のグラフを追記しました。
3	第3章 I まちづくりの現況・将来像 「すみだ中央部エリア」における記載で、「すみだの顔にふさわしい」とは具体的にどのように考えているのか。	すみだの顔とは、観光客や来街者が最初にふれる墨田区の玄関口としての在り方を指します。 押上・とうきょうスカイツリー駅周辺地区は、墨田区のほぼ中央に位置する交通上の結

		<p>節点であり、とうきょうスカイツリーを活かした区内各所への観光の入口です。その位置にふさわしい整備として「都市文化を楽しむまち」「安全安心で災害に強いまち」「地球にやさしい水と緑のまち」「人にやさしい移動しやすいまち」を将来都市像として掲げ、商業・業務・文化・住宅の複合開発による新しい拠点の形成を目指しています。</p>
4	<p>第3章 II 公共施設等整備の考え方 【基本方針1】維持管理費の適正化とあるが、何をもちいて適正化としているのか。</p>	<p>今後の公共施設の維持管理や大規模修繕に係る財源を捻出するため、維持管理等に係る経費の削減を図る必要があります。</p> <p>具体的な取組については、第3次墨田区公共施設マネジメント実行計画17ページに掲載しています。</p>
5	<p>第3章 II 公共施設等整備の考え方 インフラ系施設の中で民間活力の活用とあるが、どのような事か。また、道路や橋の受益者負担の適正化とは何か。</p>	<p>区では、平成27年度に「墨田区公共施設等総合管理計画」を策定しており、これらの項目は、当該計画と同様の内容にしています。当該計画におけるインフラ系施設としては、道路、橋りょう、河川、公園・児童遊園等、駐車場を対象としています。</p> <p>その中で、例えば公園におけるPark PFIや指定管理者制度の導入、その他管理委託を行っている案件の仕様変更など、民間活力の活用により維持管理の効率化を図り、経費を削減していく必要があると考えています。</p> <p>また、自転車駐車場や保管所における利用料及び撤去費用、道路や公園などの占用料については、適正な受益者負担により、維持管理や運営に充当できるような財源の確保に努めていく必要があると考えています。</p>
6	<p>財政収支の想定 財政収支を単年度ごとにグラフ等で示すことはできないのか。</p>	<p>基本計画後期4年間の主要な公共施設等整備事業の事業規模等を勘案し、4年間における財政収支を想定しているものになります。</p> <p>単年度収支に関しては、各年度の予算案の中で示していきます。</p>
7	<p>指標を変更した経緯が分からない。</p>	<p>基本計画策定時とは社会潮流が異なっていることや前期で終了した事業があるなど、改定するにあたり、事業の実態に即した指標に変更しました。</p>

8	施策 121 リピーター率とは何か。	来訪者のうち、墨田区を再訪される人の割合です。
9	施策 122 指標の「観光資源データベース登録数」と施策との関連が不明	区が把握しているデータベースの登録件数の増加に伴い、提供できる観光資源情報が増加することで、事業者・団体の連携を促進することができると考えています。
10	施策 123 「受容性に富む」はどのような意味か。	観光には、文化の異なる外国の方も含め、様々な考え方をを持った方が訪れます。「受容性に富む」とは、相互の違いを認め、受け入れられることを指し、誰もが安心して来訪することができ、多様な交流が生まれていく地域を目指します。
11	施策 131 指標の「電線類の地中化整備延長」の実績値が策定時と数値が違う理由は。	今回、民間事業により無電柱化された区道の整備延長を精査したところ、実績値が異なっていたため、修正しました。
12	施策 221 区が取り組む同じ事業では北部の駅が多いが、南部での取組はないのか。また、錦糸町駅と両国駅周辺において、建物の更新の機会とあるが、4年間に錦糸町駅と両国駅周辺の建物更新があるのか。	区内全域において、広域総合拠点として錦糸町駅、両国駅及び押上・とうきょうスカイツリー駅周辺地区、広域拠点として曳舟駅周辺地区、生活拠点として鐘ヶ淵及び八広駅周辺地区のまちづくりを進めています。 錦糸町駅、両国駅周辺地区において、一定規模以上の建物の更新の際には、機会を捉えて広域総合拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。
13	施策 411 昨今、災害規模が大きくなってきており、墨田区の取り組んでいる高台まちづくりなどでさらなる強化を期待している。	高台まちづくりについては、現在、国が主催する「高台まちづくり推進方策検討ワーキンググループ」において、東京都、墨田区及び荒川沿川の6区が集まり、高台まちづくりに繋がる方策の検討を行っているところです。
14	施策 413 指標の「体感治安の割合」の最終目標値が現状値より低い理由は。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で人々の外出等が減っており、特殊な要因で体感治安の肯定的評価（現状値）が増えている可能性を考慮して設定しました。
15	施策 432 指標の「通いの場の数」より改定前の「何らかの介護予防事業を利用したことがある」65歳以上の区民の割合の指標の方が適切ではないか。	高齢者の自立した生活を支援するため、支え合いの充実や高齢者が活躍できる通いの場の活動支援等を進める生活支援体制整備事業を平成28年度から実施しており、今回の改定から区が取り組む主な事業に加えしました。それに伴い、同事業実施の成果を図るための指

		標として設定しました。
16	<p>施策 433</p> <p>福祉総合型高齢者支援総合センターを2か所整備するとあるが、どこに整備する予定か。</p>	福祉総合型高齢者支援総合センターを現在2か所整備していますが、新たな整備箇所については、検討しているところです。
17	<p>施策 434</p> <p>なぜ、介護老人福祉施設入所待機者数ゼロを目指さないのか。</p>	将来的には待機者がいなくなる状態が好ましいと考えておりますが、令和7年度までの4年間の取組の成果として、高齢者数の推移や申込み状況等を踏まえた現実的な目標として、「現状よりも待機者数を増やさないこと」を目指すことといたしましたので、ご理解いただければと存じます。
18	<p>施策 452</p> <p>指標の「こんにちは赤ちゃん訪問実施率」の実績値が策定時と数値が違う理由は。</p>	計画を策定した平成27年度と現時点で指標の取り方が変わっており、現在の実態に即した形で数値を取ることにしました。
19	<p>施策 453</p> <p>指標を「結核のり患率」に限定した理由は。</p>	全国の患者数及びり患率（人口あたりの新規結核患者数）は順調に減少しているものの、今でも年間10,000人以上の新しい患者が発生し、約2,000人が命を落としている主要な感染症であり、墨田区においても「結核に関する特定感染症予防指針」で国が定めるり患率を上回っている状態が続いていることから指標として設定しました。
20	<p>施策 481</p> <p>エネルギー使用量が減れば、ガス排出量も減る。同内容の指標が設定されているため、違う指標にすべきでないか。</p>	<p>エネルギー消費量と温室効果ガス排出量は、ご意見のとおり、比例する部分もありますが、温室効果ガス排出量は、CO<sub>2</sub>排出係数によって変化します。墨田区基本計画では、ゼロカーボンシティを目指す上で、指標として特に重要なこの2つを設定しましたが、区の環境基本計画である「第二次すみだ環境の共創プラン」では、この2つの指標とは別の指標も多数設定しています。</p> <p>環境にやさしいまちの実現に向け、この2つの指標だけに留まることなく、様々な適切な取組を推進していきます。</p>
21	<p>施策 481</p> <p>環境教育・環境体験学習の取組は、</p>	「すみだゼロカーボンシティ 2050 宣言」を踏まえ、持続可能な「すみだ」の実現に向けて、

	<p>人々の意識を変えていくのに重要な取組であるため、今後も事業者との連携を継続して進めていくことに期待している。</p>	<p>より一層環境団体、事業者と連携し、環境保全への意識啓発のため、環境教育及び環境体験学習を継続的に取り組んでいきます。</p> <p>特に、区民目線で実践可能な取組を普及していくとともに、教育委員会事務局とも連携し、環境教育に取り組んでいきます。</p>
2 2	<p>施策 481</p> <p>地球温暖化防止設備導入助成は、温暖化防止を推進するために助成・普及啓発は大変重要である。定着しても助成を継続していただきたい。</p>	<p>これまで本助成制度により、温暖化防止を推進してきたところである。技術革新などで省エネ効果が高いものなど、費用対効果を勘案し、国や都の動向を注視しながら、対象設備を随時見直していきます。今後も助成制度を継続していくとともに、温暖化防止の意識啓発のため、さらに普及啓発に取り組んでいきます。</p>
2 3	<p>施策 483</p> <p>ごみ排出量が減ればごみ収集量も減る。同内容の指標が設定されているため、違う指標にすべきでないか。</p>	<p>区では3R・推進清掃事業を展開する上で、以下の観点から2つの指標を設定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民1人1日あたりごみ総量</li> </ul> <p>資源リサイクルに先立ち「不要物の発生そのものを減らす」観点から、資源に分別される前のごみ(資源物)を含む「ごみ総量」の減量が反映される本指標を設定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民1人1日あたり区収集ごみ量</li> </ul> <p>リサイクルを含めた3Rの進捗を評価するとともに、長期的なごみの収集・運搬体制を構築するうえでの指標として設定しています。</p>
2 4	<p>施策 513</p> <p>「やさしい日本語」の普及啓発を区職員に対して行うことから、「やさしい日本語」による情報発信数を指標にするのは不自然ではないか。</p>	<p>外国人にとっても暮らしやすい環境を作るために、「やさしい日本語」による様々な情報発信の件数を増やしていく事を目標として掲げており、この達成状況を把握するため、今回の改定で新たな指標としました。区職員に対する「やさしい日本語」の普及啓発は、施策達成のための一つとして行うものです。</p>
2 5	<p>施策 542</p> <p>公共施設等マネジメント推進事務の中で、公共施設(建物)とあるが、18頁では「公共施設等」とある。インフラはマネジメントしないということか。</p>	<p>前述の「墨田区公共施設等総合管理計画」は、基本的な方針を示す計画としており、具体的な実施計画は、公共施設(建物)、道路、橋梁などの個別施設計画を別途策定のうえ、進めているところです。</p> <p>その中で、施策 542では、公共施設マネジメ</p>

		<p>ント実行計画において対象としている施設を対象としており、一部事務所など賃貸借施設等を含んでいます。</p> <p>道路や橋梁、公園などの基本計画内における位置付けとしては、主にまちづくりの観点として、それぞれ施策 132 や施策 222 などに位置付けられています。</p>
26	<p>歩きたばこについて、早急かつ効果的な対策をお願いしたい。</p>	<p>墨田区では、区独自に「墨田区路上喫煙等禁止条例」を制定し、区内全域において歩きたばこ・吸い殻のポイ捨てを禁止するとともに、錦糸町駅・両国駅・押上駅等のターミナル駅においては、路上喫煙自体を禁止しています。具体的な取組としては、リーフレットの配布やステッカーの掲示等による啓発活動、駅周辺のパトロールによる違反者への指導、公衆喫煙所の整備等を行っています。今後も引き続きこれまでの取組を継続するとともに、いただいたご意見を踏まえ新たな取組の検討を進め、喫煙者のさらなるマナー向上に努めてまいります。</p>
27	<p>本所保健センターのアクセスが悪い上、施設内が利用し辛い。区民が利用しやすい保健所にして欲しい。</p>	<p>区では、横川五丁目に、保健所、子育て、教育の機能を集約した新しい保健施設の整備を進めています。(令和6年度開設予定)</p> <p>新施設は、既存の公共交通機関をご利用いただけるほか、十分な駐輪場、駐車場の確保、障害のある方でも利用しやすい駐車場など、利用者がアクセスしやすい計画としています。また、ユニバーサルデザイン、バリアフリーにも配慮し、誰でも利用しやすい施設を目指しています。</p>
28	<p>向島方面に住民が利用しやすい商業施設をお願いしたい。</p>	<p>地域特性を踏まえたエリアを設定し、地区ごとの個性を活かしながら区全体の魅力や価値の向上につながるまちづくりを進めていく必要があります。向島周辺地区は、史跡や寺社などの歴史的・文化的施設が多く、隅田公園との一体的なエリアとして、文化・スポーツ拠点として整備していきます。</p>
29	<p>隅田川沿いは、暗く近寄りづらいエリアもあるため、子どもを含め区民が気軽</p>	<p>隅田川の管理者である東京都と連携し、魅力的な河川環境づくりができるよう調整して</p>

	に利用できる川沿いの整備をお願いしたい。	いきます。
30	税金を多く納めているにもかかわらず、保育料が高くなるなど、他の世帯と同じ条件で子育て支援を受けられず不公平感がある。所得にかかわらず平等に子育て支援を受けられるようお願いしたい。	<p>保育料は福祉の観点から、収入が低いご家庭でも利用できるように、所得に応じた設定をしています。また、保育施設を利用しているご家庭と利用していないご家庭との間における公的負担の公平性なども考慮しているところです。</p> <p>区としては、公平性の観点に配慮しながら、今後も子育て支援サービスを提供していきます。</p>

### 3 パブリック・コメントの実施結果により修正した点

P10 年齢3区分の推移（割合）（住民基本台帳）のグラフを追加

